

平成 26 年 第 1 回 恵那市 市民評価委員会（要約版）

日時：平成 26 年 7 月 9 日（水）

午後 1 時 30 分から

場所：恵那市役所会議棟中会議室 A

-
- 1 委員長あいさつ
 - 2 まちづくり推進部長あいさつ
 - 3 会議の公開・会議録の公表について（確認）
〔異議なし〕
 - 4 議事
 - (1) 本年度の市民評価委員会について
 - (2) 評価事業の選定、決定
 - (3) 評価の方法について（確認）
 - 5 その他
 - 次回の開催予定日について

出席者（敬称略）

【委員】市川美彦、奥村ひとみ、田口譲、柘植麻美、平野未帆、宮地政臣、三輪哲司

【欠席委員】大竹典子

【オブザーバー】竹内泰夫

【事務局】まちづくり推進部長 可知孝司、まちづくり推進部次長 小林敏博 総合政策課係長 服藤知晃、総合政策課 佐古裕介

1 委員長あいさつ

■事務局（進行） ただいまから 26 年度第 1 回市民評価委員会を始める。始めに委員長からあいさつをいただく。

■委員長 13 時 30 分という会議をするには辛い時間帯となるが、お集まりをいただき、ありがとうございます。本年度の市民評価委員会を始めるわけだが、大きな台風 8 号が日本縦断をしようとしている。恵那地域も影響があると思う。市も対策本部を設置して対応している。大井町も明日地域の対策本部を作ろうと午前中相談をしてきた。嵐の前の静けさだ。今年度の委員会は少し遅れておりその分圧縮されると思うが、ぜひ最後まで御支援御協力いただきたい。

2 まちづくり推進部長あいさつ

■事務局 まちづくり推進部長からあいさつする。

■まちづくり推進部長 本日は第 1 回の市民評価委員会にご出席をいただき誠にありがとうございます。この評価委員会では平成 22 年から 25 年にかけて 49 事業を評価いただいた。委員の皆さんには任期 2 年でお願いしており、今年度も評価いただくということでよろしくをお願いします。

恵那市の動きを紹介する。今年の 4 月に大きく組織再編があった。私たちの部は教育委員会の社会教育、文化スポーツ部門まで担当する。組織横断的にまちづくりまでつなげるための組織となった。名称についても、まちづくり推進部となった。お手元に資料がある。恵那市の主要課題と、第 2 次総合計画施策大綱のイメージの資料。恵那市の行政の動きについてお話させていただきたい。恵那市は今年合併して 10 年になる。現在の総合計画は 27 年度までで、28 年度からの次の総合計画の策定に着手している。策定に当たり、恵那市の主要課題をここで抽出させていただいている。7 点挙げている。(1)～(3)の項目は、恵那の皆さんの暮らしを守るところをあげている。(4)、(5)は、守るだけでは自治が維持できないので攻めるまちづくりということであげている。リニアの波及効果も恵那市のまちづくりにつなげていきたいということです。(6)、(7)は地域自治力を高めることであげている。特に(7)の 10 年後の恵那市のその先を考えるについて、現在、合併して特例措置があり、いろいろな基盤を作ってきたが、27 年度以降これが段階的に縮減され 31 年までに終了してしまうということで財政事情も厳しくなるので、その先を見通しながら財政運営を考えなくてはいけないということでその先と表現をしている。さらに、策定に当たっての特徴が 2 枚目にある。第 2 次総合計画の施策大綱のイメージ。左が体系で 6 本の柱がある。この体系は市町村合併の際の市町村合併協議会で行政サービスの水準のすり合わせをして立てた新市まちづくり計画がベースになっている。施策の柱が行政の各分野ごとに整理されており、目線が合併したそれぞれの市町の行政サービスを意識しながら、

バランスを取るように施策の大綱ができています。今回イメージとして私どもが考えていることは視点が3点ある。1つは市民皆様への分かりやすさ。行政サイドの施策の分野立てではなく、そこに住む皆様方のまちづくりの視点に立って、施策を再編成したい。さらに、視点の2番目として効果的な行財政運営をしていきたい。3番目として新たな課題、東日本大震災、リニアの問題、少子高齢化の進展などの新たな課題を加えて大綱を整理したい。ここに安心、快適、元気、成長とあるが、これは現在恵那に住んでいる人の世代別にどう考えるのか、例えば若い人なら魅力ある雇用の場がほしいという元気をまちづくりにつなげたいとか、高齢者では安心などがテーマになるかもしれない。多様なニーズを反映するような柱立てにしていきたいと思っている。

こういった形で今年から2年かけ、施策の体系を固めていきたいと思っている。現在、施策の評価をしているが、今回の計画の策定と並行して、今後施策を評価しながら見直していくといったことに取り組んでいきたい。市民評価委員の皆様方には、現総合計画の評価をいただくが、こういった過渡期にあるということだけご理解いただき、改めて評価の制度設計についても意見をいただく機会があればと思うので、どうぞよろしく願いいたします。

3 会議の公開・会議録の公表について（確認）

〔異議なし〕

4 議事

(1) 本年度の市民評価委員会について

■委員長 議事を進めていく。それぞれ説明を受けながら各委員の意見、質問をいただく。まず資料①について事務局からの説明を求める。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■委員長 資料①について1ページは従来通りの流れなので御確認いただきたい。2ページ、市長提言までのスケジュールについての意見はないか。では、このスケジュールで行う。具体的日程は委員会の度に確認をしながら進めることにしたい。

今後の評価選定の仕方について説明があったが、委員会にかけるまでもなく行政内部で十分対応できるという事業内容ばかりだ、そのようなことしか出てこないということなら、それにかける時間は無駄ではないかという意見も委員からあった。今回は委員全体で事業選定に当たる。昨年度は20事業で非常に多かった。これは農業施設にかかわる問題があっ

た。明智、山岡、岩村で関連施設があれば全部対象としたためだ。今回も選定にあたって、そういうものがあれば若干増える。いずれにしても行政評価については、一番重要なのは年度ごとに出てくる市民意識調査である。この中には重要な事業でも満足度の高いもの、低いものがある。あるいは、継続事業や課題等がある。今回はその内容も含めて選定に当たっていただく。評価の中で経験してきたことはこの日程が分かっているながら、現地では細かい説明がされなかったり、求めても資料が出てこなかったことがあるということ。遊休農地が、この事業のために減らしていこうということで、どのぐらいの遊休農地がありこの事業でどれだけ減ったかという単純な質問にも答えが結局示されなかった。いきなり聞いたわけではなかった。事務局でも関係する事業については、詳しいヒアリングに関する資料の対応をしてほしい。そのことについて意見、質問はないか。では①については終わる。

(2) 評価事業の選定について

■委員長 事務局から説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

■委員長 資料2は事務事業の一覧表。これに基づき意識調査の内容に基づいて皆さんから事前に選定いただいたのが資料4。重点課題、継続、課題と分類されている。色がけされているものについては評価で取り扱ってきた。色がけについては、これは選定から外すということでもいいか。では、色がけの課題は、過去に評価してきたので今回の選定から外す。昨年度は関連施設を含めて20事業だったが、今回は10事業ぐらいに絞るということでもいいか。では、10事業を目途とする。事務局に聞くが、これについては、こちら側の考え方では、6つの主要施策に偏りのないようにしたほうがいいのか、そういうことは関係なく委員が求めるものをやったほうがいいのか。

■事務局 重点課題と、それ以外に委員の皆様がやりたいというものがあればそれでいいのではないかと思う。

■委員長 重点課題をどれぐらいにするか。継続と課題をどの程度にするか。意見はないか。

■委員 行革と事業評価の関わりがどうしても出てくる。合併して10年ということになれば、ある程度行革も推進しないといけない。それに基づく効率を求めた評価ということで選定した。

■委員長 一通り皆さんの意見を聞く。

■委員 私は今一番大事なことは何かという観点で選定をした。

■委員 私はいくつか選んで、迷ってこの1つにした。ここには出てこないものもあるが、出したものが出ているので、1ではないが0.5ぐらいの基準になる。そういったこともある。一応この表に沿って選んでいったほうがいい。

■委員 数は10選ぶとすると重点課題と残りが3つなので、残り3つで重点7。

■委員 私は自分の興味のあることで選んだが、重点課題に重点を置くほうがいいので、重点課題から5事業残りから5事業がよいのではないか。

■副委員長 課題については難しいが、できればこれからの恵那市の課題との関連も考慮すると思う。

■オブザーバー 600の中から6つ選ぶというのがもともと無理だ。1%選べと言われても。だから分散してしまった。今日の課題はそれをいかに絞るかということだ。

その前に、重点課題というのは、重要度が高いが満足度が低いということだ。市民が重要だと思うが満足していないということだ。その中から重点課題に絞ってもよかったと思う。事務局はバランスを取ろうとしたと思うが、絞ってもいいのかなと思う。この1ページ（重点課題）から選ぶというのはいかがか。

■委員長 選定事情は今後の行財政改革の視点を含めながらということであったり、現時点における重要な視点を考えたらどうかとか、重点課題を具体的に7つとか5つとかという提言があった。600事業の中から限られた期間で議論するのは不可能だ。この点についても過去議論してきた経緯があるが、評価の視点はサンプル的なものを中心としながらやることになるだろう。皆さんの意見をお聞きする中で、平均的なところでは重点課題を5つ、その他関係を5つということで10事業の選定をしていったらどうかと思うかどうか。

■委員 そのようにしたらどうか。甲乙つけがたいものがあれば1プラスするというだけでもいいのでは。

■委員長 それでは、基本は10事業で絞り込みの中でこの事業も重要だよというのがあればそれもプラスするという前提で選定をおこないたい。重点課題の中で複数の委員から選定されているのが市立恵那病院の管理経費、木漏れ日作戦事業、雇用対策推進事業。これは決めてもよいか。ではこれは決める。あと2つ。ぜひこれはという意見があれば出していただきたい。

■委員 私は選挙管理委員会事務を出した。旧恵那の投票所は整理合理化されているが恵南は投票所がすごく多くある。例えば200人以下の投票所もある。民意の反映でいえば小さくてもということもあるかもしれないが、職員の数も要るし、1投票所に6以上のポスター掲示場が必要ですごく大変になる。これから5千人ぐらい減る中で、職員の人員も足りなくなると懸念するので、これを提案した。旧恵那と恵南の人口はすごく違う。旧恵那は期日前投票もしていて前日もここに来るが、恵南では前日まで、土曜日まで地域振興課でやっている。そういう面で改善すべきだと思う。

■委員長 これは議会からも質問が出ていたような気がする。簡単に言うと旧恵那と恵南の投票所のアンバランスがあるということ。住民の公正公平と行政の能力を考えて適正なあり方を考えるということだ。これは取り上げてよいか。では取り上げる。あと一つ、何か意見は。

■副委員長 人、地域、自然が調和した交流都市という点でいくと、計画だけだと思うが、バイオマスタウン構想がどうなっているのか。全市的になるのか、自然と関係がどうなるか興味がある。それで選んだ。豊かな自然と調和した恵那市。農業という点で見ると、分化してきていて、横のつながりがなくなっている。昔は自分の家で家畜を飼って循環する農業だったが、今は切れてしまっている。何とか恵那市の中で循環ができないかと思う。バイオマスというのは、下水道で堆肥化ということ、これは非常に難しい。その辺がどうなっているか、どう市民に知ってもらおうかが大事だと思ってこちらを選定した。

■委員長 これからの課題だと思う。先ほど部長からも新しい総合計画の考え方も示された、そこに直結すると思う。これを選定してよいか。ではそうする。それではこの5つを決定する。

次に継続推進するものと、課題について事業数の割り振りする。例えば継続3、課題2とか。

■オブザーバー 最後のページの要検討の項目はどうなるのか。

■委員長 最後のページの要検討も含める。そうすると、2、2、1でよいか。では、継続推進2、課題2、要検討を1とする。委員の希望を聞く。

■委員 恵那市の主要課題の高齢社会への対応と子育て支援関係を私は選んだ。子ども元気プラザの運営と次の放課後児童クラブ。この2つから1つを選びたい。子ども元気プラザにしたい。

■委員長 では子ども元気プラザを評価事業とする。

■委員 私も同じく子ども関係を選んだ。放課後児童クラブの施設整備事業を入れたいが、同じような分野になってしまう。そうすると、老人関係、老人クラブの運営支援も入れたい。

■委員長 よろしいか。それでは老人クラブの運営支援としたい。次に課題という分野について、オブザーバーから意見はあるか。

■事務局 1点、課題のところ、まだ実施されていない事業がある。串原温泉整備事業。これは事業化されていないのに入り込んでいる。

■委員長 それではこちらは除外する。それ以外のところで。

■オブザーバー 確認したいが、課題というのは、市民意識調査で満足度は低く、重要度も低いだったか。商店街の活性化事業などは、個人的には関心がある。

■委員長 これは大井町、明智、岩村等の商店街の関係。関係するところを中心とした評

価ということでよいか。

■オブザーバー よい。

■委員長 では商店街の活性化事業でよろしいか。他にはないか。

■委員 私は明智、大正村関連を選んだ。どちらか一つは選びたい。全体的なものをみたいので明智観光関連施設の管理事業が入るといい。

■事務局 この中身は千畳敷公園の遊具の修繕と公園管理しかない。事業名は大きくなってるが中身は小規模だ。

■委員 いろいろ含めると思っていたが、2 つしかないのか。関連で大正村コテージこもれびの管理も含めてもよいか。

■事務局 かまわない。

■委員 2つの事業をセットでみていただけるなら希望したい。

■委員長 それではそのような形としたい。次に要検討の分野について。

■委員 事業費が多いということが選定理由となっている正家廃寺跡保存事業を希望する。

■委員長 よろしいか。では確認する。1 ページ目の重点課題から5事業。継続推進から2事業。課題から2事業、要検討から1事業。これで決定していいか。

■事務局 課題からは明智観光関連施設管理事業と大正村コテージこもれび管理事業両方ということか。

■委員 2つの事業をセットとする。

■委員長 それかこれをセットにしてもう1事業選ぶか、どうするか。

■事務局 商店街活性化事業がある。

■委員長 そうだ。明智観光関連施設管理事業と大正村コテージこもれび管理事業はセットで1事業、商店街の活性化と合わせて10事業の選定としたいがいいか。では選定については10事業選定した。

(3) 評価の方法について

■委員長 事務局から説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

■委員長 評価委員のチェックシートの記入の仕方。評価の視点。例年の通り。1. 公共性、2. 有効性、3. 効率性、4. 効率性。この点について、ご意見があれば出してほしい。ではこれは目を通しておいてほしい。今日の議事はここまでとなる。

5 その他

次回開催予定日について

- 事務局 次回の予定を2つ決めてほしい。そのために、今日選んだ事業を、視察に行くものと事務事業としてヒアリングするものに分けて、2つの日程を決定したい。視察に行くものをまず確認していただきたい。
- 委員長 まず病院は視察を行う。バイオマス構想事業は現場はあるか。
- 事務局 現場はないです。
- 委員長 木もれ日作戦事業はモデル的な地域や実施したところはあるか。
- 委員 これは建設課に聞けばいい。
- 事務局 いろんな地域でやっている。
- 事務局 冬に伐採するので…。
- 委員長 冬に行けばよく分かるが、今行って冬のことを想像することもできる。2、3該当する現場を見る。雇用対策事業は聞き取りだろう。選挙管理委員会事務も聞き取り。重要課題については、市立恵那病院管理経費と木漏れ日作戦事業の2つが視察となる。
- 副委員長 木漏れ日作戦事業は、私も選定したが、冬に凍り陰になるというのが一つだが、道路に林が迫ってきて暗いようなところの解消もそうだと思う。何か所か見たい。
- 委員長 県道、国道は難しいのか。
- 事務局 そうだ。基本的には市道だ。
- 事務局 市道でないといけない。
- 委員長 行政からちゃんと県に言えということだ。評価はできない。
- 事務局 対策されているところとされていないところを比較して見ていただく。
- 副委員長 これは大きな問題である。道からどれだけかは木がないと…。
- 事務局 2月に雪害があった。その倒木の処理に市が手が出なかったということがあった。民地なので財産の帰属が個人所有になっていた。そういったこともあるのでこういったところの対策を今後検討いただくのにはいい機会だ。
- 委員長 市民目線で見ると悪いところを指摘するのがよい。担当課と話していただき、複数見るところがあれば選定しておいてほしい。課題の分野からは、老人クラブの運営支援については聞き取りでいいか。組織の拠点はないか。拠点となって恵那市全体の活動をやっているところがあれば。
- 事務局 一部サロンのようなやっているのは別の補助金のメニューになるので…。
- 事務局 現場を見ても中身の経費の評価にはならない気がする。お金の使い方や、それについて老人クラブの人がどう満足しているかのという話にはならないのかなと思う。
- 次長 現場は向かないと思う。
- 委員 課題は旧5町村の100%近くが老人クラブ対象者になるが、旧恵那では組織率が

低下しているということ。

■委員長 会員拡大の視点では大井では組織率がない。我々も対象者だが誘いもない。大井では会員活動がっさいない。

■委員 組織率が大井のようなところではない。

■事務局 その辺を聞くといい。

■委員長 雑談になるが、「老人クラブ」だから入らない。「賢人の会」にすればいい。「老人クラブ」ではそこにいてそっとしててくださいというようなものだ。「賢人の会」なら、能力を社会還元できますという意味だ。全国組織なので名前が変えられないというのが行政の判断だが、「賢人の会（老人クラブ）」にして、組織化をして高齢者の知恵を総合計画とかの分野にどう知恵を出してもらうのかいう活動をすべきだと言ったが、担当課はあまり動かない。今回の評価ではそういった点も問題としてほしい。元気プラザは現場があるので見に行く。課題についての2カ所も視察する。正家廃寺も視察する。商店街活性化事業はやはり現地を見る必要がある。明智、岩村、大井、長島を中心とした商店街がどういう状況か見て問題を指摘していただく。ここに記述されている地域については、全体の視察にうまく合わせて効率的な日程を組んでいただきたい。

■事務局 今視察するところとヒアリングするところを区分けしてもらった。それまでに各課にお願いをして、事務事業成果表についてもしっかりしたものを作り、詳細資料を付けて、皆さんに送る。そこで事前質問を受け、各課から回答を得て、視察もしくはヒアリングと従来してきたのでそれを踏襲する。事務局の提案として、8月28日と9月2日から5日の中で2回調整してほしい。

■委員長 現地視察をしてから聞き取りした方がいい。8月28日に視察にしたいが、都合はどうか。

■副委員長 半日ならいい。皆さんが都合がいいならやってほしい。私は午前ならいい。

■委員長 視察は通常9時スタートになるか。

■事務局 それぐらいだ。

■委員長 9月は2日から5日だが。

[委員で日程を確認]

■委員長 2日か4日がいいようだ。早急に連絡をする。

■事務局 日程は、視察については8月28日9時から始める。各課に連絡しておく。ヒアリングについては事務局で集約して最終的に連絡する。

■委員長 視察の日程内容は事務局で順序良くまとめてもらう。9月の日程は私が日程を言っていないので早急に連絡する。それではこれまでのところで言い忘れたこと、質問、意

見はないか。それでは本日はこれで終わる。大変御苦労さまでした。

■オブザーバー 1 つ各課に資料を請求するときに、できれば該当事業の上位の施策についての評価表を添付すると参考になる。通常6月にはでていると思うが。

■事務局 恵那市の経営のことか。添付する。

■副委員長 大変暑い中、第1回の恵那市市民評価委員会を終わる。10事業を評価する。大変時間がないので、早くやらないといけない。本日は閉会とする。

[閉 会]